



八幡小だより

北九州市立八幡小学校
校長 田頭 麗宏



緊急事態宣言が延長されました

より一層の連携で みんなの健康を守りましょう



残念ながら、病院や福祉施設などでクラスターが発生するなど、新型コロナウイルス感染症に関してまだまだ心配な状況が続いており、福岡県に発令されている緊急事態宣言が延長されました。高齢者の感染は命に関わる大問題となりがちです。小中学生の感染も続いています。

以前もお伝えしましたが、小中学生の感染の大半は家庭内においてです。社会生活を送っている以上、気をつけていても誰にでも感染リスクがあります。ご家族の身近な関係者に感染された方がいたら、ご家族のリスクが高まり、それによって子どものリスクが高まる可能性が出てきます。感染しなかったとしても、ご家族や子どもが濃厚接触者や健康観察対象者としてPCR検査を受けることも考えられます。

教育委員会の示した基準では、「子ども本人が濃厚接触者になってPCR検査を受けた場合、もし陰性だったとしても2週間は出席停止」となります。「子ども本人が健康観察対象者になったり、風邪症状が見られたりしてPCR検査を受けた場合は、検査結果が陰性と判明するまで出席停止」です。また、「同居の家族が同様の状況でPCR検査を受けた場合も、検査結果が陰性と判明するまで出席停止」になります。

例えば、3年生の子どもが風邪症状のために病院に行き、そこでPCR検査を受けることになった場合、5年生のきょうだいは出席停止になります。中学生のきょうだいがいたら、同様の対応をとってもらいます。もしも出席していたら、早退してもらうことになります。

これまででも、新型コロナウイルス感染症に関して何か心配な状況が起きたら、必ず学校に連絡をいただくようお願いしてきています。情報共有することは、適切な対応において重要だからです。また、子どもがPCR検査を受けた場合、すぐに教育委員会にも報告しなければなりません。集団感染の可能性があるなど、場合によっては、報道発表や休校措置にもつながるからです。

ありがたいことに、本校ではこれまで保護者の皆さんにご理解、ご協力いただくことができています。早めに報告や相談の電話をいただくことは、迅速で適切な連携をする第一歩と言えます。大げさと思われるかもしれませんが、上に書いた「出席停止になるケース」で、そのタイミングが遅れてしまうことは校内クラスター発生のリスクを高めることになるのです。そこまでいかなくても、多くの方に不安な思いをさせてしまうと考えます。



また、濃厚接触者になれば出席停止となるため、上のきょうだいがいる場合、これからの入試シーズンにはいっそうドキドキが増す方がいらっしゃることも想像できます。

逆に、ご家族がPCR検査を受ける場合でも、子どもが通常通り登校できるケースがあります。そういう点からも、必ず相談の連絡を入れていただくようお願いいたします。また、これまで通

小中の連携も大切にしています

先日、恒例の「小中合同あいさつ運動」を実施しました。例年なら、年間を通して行うもので、場所も校門周辺だけでなく、よしぼう橋付近など校外にも出て、多くの人にあいさつをしていました。



しかし、本年度の状況ではなかなか難しく、中央中学校と調整を続けた結果、感染対策をとりながらの実施となりました。大切な伝統を途切れさせないよう、可能な形で小中連携を続けていきたいと思っております。

り、毎日の「健康チェックリスト」を丁寧に行っていただく(休日も)ことも重ねてお願いいたします。登校後、発熱した時はもとより、咳やくしゃみがひどい場合には別室で様子を見た後、家庭連絡して迎えに来ていただくことがあります。花粉症の症状などの場合には、連絡欄にお書きください。

学校でも、感染対策を引き続き行っています。先日、学校薬剤師さんが教室内の二酸化炭素濃度を



測定したところ、ほとんどゼロでした。しっかり換気効果があがっているとのことです。各教室に加湿器も設置しています。